



# 久山年神社報 第三十一号 たよしの杜



宮司 本田孝裕

## 『午(馬)のお話』

明けましておめでとうございます。いつも社報を見て頂きありがとうございます。本年も久山年神社ならびに社報たよしの杜をどうぞよろしく願います。

さて、今年はずが馬に変わりました。馬は昔から農業の手助けになったり、戦の道具になったり、私たちの生活と深く関わってきた動物です。そして今年はずは丙午(ひのえうま)の年になります。丙は「火の表年(おもてどし)」という意味で、文字通り火の力が強い年といわれています。

また午もねずみから数えて7番目の動物で時計でいえば6時の位置になります。6時の位置は方角は南、季節は夏を表します。御存知のとおり夏は焼けるように暑い季節です。このことから馬もまた火の力が強い干支であり、つまり丙午という年は二重に火の力が強い年と云い伝えられています。

このことから丙午は火事が多い年だとい伝えられています。これは江戸時代の八百屋お七の話も合わせると尾ひれが付いた迷信のようです。

江戸時代の前期、とある八百屋にお七という18歳の娘がいた。前年に発生した「天和の大火」でお七の家が燃えてしまい、お七一家は寺に避難した。

お七はそこで寺の小姓と恋仲になった。やがて店は再建されたが、お七は小姓のことが忘れられず、もう一度火事になれば小姓にまた会えると考えて家の近くで放火に及んだ。その場にはお七は放火の罪で御用となった。

当時は18歳以上の者の放火の罪は火あぶりの極刑に処せられていたが、17歳以下なら極刑は免れることになっていた。そこで奉行は、お七の刑を軽くするために「おぬしは17歳であろう」と問うが、お七は正直に18歳だと答えてしまい極刑に処せられることとなった。

このお七が丙午の生まれであったことから、丙午生まれの女子が疎まれるようになったそう。さらにお七の性格から丙午生まれの女性は気性が激しく夫の命を縮めるという迷信に変化したことにより、前回の丙午(昭和41年)では出生率が大きく減少しました。また火事が多い年というもお七の放火事件から派生した迷信と云われています。

ですが一方で丙午は火の力が強いことから「情熱や行動力」を表し、何かに挑戦するには良い年だとも云われています。

神社では昔は立身出世のために馬そのものを奉納する習わしがありましたが、それは大変だったため、代わりに大きな木の板に馬の絵を描いて奉納したのが「絵馬」の始まりとされていて、奉納しやすいように時代と共にだんだん小さくなり現代の絵馬の大きさになったと云われています。

令和8年が皆さまにとりまして上手(ウマ)と云うように良い年になりますようお祈りいたします。



## 令和8年 参賀一覧表

参賀名	性別	年齢	生まれ年
厄入	男性	数え年41歳 (満40歳になる年)	昭和61年生まれ (とら)
	女性	数え年33歳 (満32歳になる年)	平成6年生まれ (いぬ)
厄明 (厄晴)	男性	数え年42歳 (満41歳になる年)	昭和60年生まれ (うし)
	女性	数え年34歳 (満33歳になる年)	平成5年生まれ (とり)
その他の大厄	男性	数え年25歳 (満24歳になる年)	平成14年生まれ (うま)
	女性	数え年19歳 (満18歳になる年)	平成20年生まれ (ねずみ)
還暦	男女とも	数え年61歳 (満60歳になる年)	昭和41年生まれ (うま)
古稀	男女とも	数え年70歳 (満69歳になる年)	昭和32年生まれ (とり)
喜寿	男女とも	数え年77歳 (満76歳になる年)	昭和25年生まれ (とら)
傘寿	男女とも	数え年80歳 (満79歳になる年)	昭和22年生まれ (いのしし)
米寿	男女とも	数え年88歳 (満87歳になる年)	昭和14年生まれ (うさぎ)
七五三	女兒	数え年 7歳 (満6歳になる年)	令和2年生まれ (ねずみ)
	男児	数え年 5歳 (満4歳になる年)	令和4年生まれ (とら)
	男女とも	数え年 3歳 (満2歳になる年)	令和6年生まれ (たつ)

## 令和8年 戌の日一覧表

1月	12日 (月・祝) ・24日 (土)	7月	11日 (土) ・23日 (木)
2月	5日 (木) ・17日 (火)	8月	4日 (火) ・16日 (日) ・28日 (金)
3月	1日 (日) ・13日 (金) ・25日 (水)	9月	9日 (水) ・21日 (月・祝)
4月	6日 (月) ・18日 (土) ・30日 (木)	10月	3日 (土) ・15日 (木) ・27日 (火)
5月	12日 (火) ・24日 (日)	11月	8日 (日) ・20日 (金)
6月	5日 (金) ・17日 (水) ・29日 (月)	12月	2日 (水) ・14日 (月) ・26日 (土)

【数え年とは】神社でのお祓いは数え年で受けます。数え年とは生まれた年齢が0歳ではなく、1歳から数え始めて年が明けると誰もが一つ年をとるという考え方です。誕生日は関係なく、対象の全ての方が上記の生まれ年に該当します。七五三を除いて、通常はお正月・節分の日までを目安にお祓いを受けます。

【戌の日について】犬がたくさんの子を産みお産が軽いことから、これにあやかり安定期に入る5か月目の戌の日に腹帯を巻き「着常祝い」の儀式を行います。神社では子宝に恵まれた事に感謝し、母子の健康と安産を願って祈願する事が古からの習わしとなっています。

## 【神社での祈願】

安産・お宮参り・七五三・厄祓・還暦などの年の祝い・自動車清祓・家内安全・心身健康等の祈願

## 【出張祭典】

地鎮祭・起工式・竣工祭・解体家祓・新築や中古住宅の家祓・井戸埋祭などを随時受け付けています。

節目の年には神社でお祓いを受け無事を祈願しましょう

## 寄付をお願い致します

毎号お伝えしております、神社改築の寄付のお願いです。

少しずつ増えてはいますが、まだまだ目標額にはほど遠い状況で、なにとぞ重ねてお願い申し上げます。

寄付について不明なことがありましたら、ご遠慮なくお尋ね下さい。

五万円以上の寄付の方には、できるだけ無理が無いよう「分割での寄付」も受け付けています。ご遠慮なくご相談下さい。

寄付は直接、久山年神社社務所までお持ち頂くか、左記の口座へ振り込み願います。(振り込手数料は差し引いて構いません)

### 【寄付振込先】

十八親和銀行 多良見町支店 口座番号(普) 5009504

たちばな信用金庫 多良見支店 口座番号(普) 1586247

久山年神社記念事業実行委員会 宛

※振込の場合は、振込完了後に神社まで一報下さると幸甚に存じます。(お礼状発送等のため)



# 新しい年にはお伊勢さま 氏神さまのお神札をお祀り しましょう

お伊勢さまと氏神さまのお神札は家庭の幸せを願うお神札です。お祀りしてご家族の幸せを祈りましょう。

新たにお神札を受けて頂いた方へ特製の神棚をプレゼント中です。詳しくは神社へお尋ね下さい。(数に限りがあります)



## お詫び

前号(30号)で写真など画像部分が粗く大変見にくい状態でした。編集時点では問題がなかったのですが、印刷を依頼する際に手違いがあったようです。ホームページで閲覧できるインターネット版は綺麗に見ることが出来ますので、宜しければそちらをご利用ください。今後は注意して製作して参ります。申し訳ありませんでした。

## 古神札・古神符焼納祭

二月三日(節分)に古い御神札や御守、破魔矢などの縁起物をお焚き上げ致します。境内のテントに納める箱を置いてますので、当日までにお納め下さい。お焚き上げ出来るものは、神社の御神札・御守・破魔矢・熊手などです。

お寺などの他宗教の御神札や御守はそれぞれの宗教施設にお返し下さい。またぬいぐるみ・人形・しめ飾りなど神社に関係の無いものは持ち込まないようお願い致します。



## 編集後記

編集後記はお休みます

## 宮司 本田孝裕

責任役員 南条 博

同 山部宣夫

同 木下一郎

同 田中忠昭

総代 中村修一

同 池田正昭

同 佐藤一蔵

同 井手洋一郎

他 奉賛会役員一同

本年もよろしくお祈りします

